

うご町

発行：社会福祉法人 羽後町社会福祉協議会



社協だより



— 社協の今 福祉の今 あなたの今を共に —

第119号 **ふれあい** 令和6年1月1日

～ 山形県天童市「ふれあい天童」へ視察訪問～



11月16日（木）、社会福祉協議会仙道支会による視察研修が行われ、山形県天童市にある“NPO法人ふれあい天童”を訪問させていただきました。

“NPO法人ふれあい天童”は、有償の助け合いの会として外出支援や洗濯サービス等の活動や、ふれあい居場所づくりの活動を行っているNPO法人です。30年以上続いている有償ボランティアの取り組みや、きっかけなどを理事長である加藤由紀子さんからお話をいただき、意見交換を行い、その後みなさんで昼食をごちそうになりました。



↑ 訪問視察の日の昼食です！（400円）

- ・紅花色の炊き込みご飯・カブの味噌汁・お新香
- ・野菜の肉巻きフライ・菊のお浸し・かぼちゃの煮つけ
- ・柿と野菜の白和え・ラフランスゼリー

年頭の ごあいさつ

羽後町社会福祉協議会
会長 長谷山 洋文



あけましておめでとう
ございます。年頭にあた
り謹んで新年のお慶びを
申し上げます。

昨年の夏は、記録的な
猛暑の日々が続き、町民
の皆様の暮らしに少な
からず影響があったこと
思われます。また、秋田
市・五城目町を中心とし
た豪雨災害大水害のため
被害を受けられた方に心
からお見舞申し上げます。

「5類」に移行を受けま
して、私たちの前途に光
明が差す新年であります
ように願っております。
「社協」では、誰しも
が住み慣れた地域で生き
がいを持って楽しく暮ら
していけるように事業を
展開します。民生児童委
員をはじめ、町内福祉施
設、福祉関係各位の地域
住民の相談窓口としての
重要な役割を担っており
る皆様と連携を図り、
安心して生活出来るよう
な地域共生社会に向けた

取組を実施してまいりま
す。

それぞれの地域での支
会活動に、町民の皆様
の「にぎわい」が戻るよう
に支援するとともに、町
と連携して利用者の皆様
が安心出来る福祉施設の
介護業務等に側面から協
力してまいります。

地域の福祉ニーズに応
えるべく、役員員一丸と
なって取り組んで参りま
すことを申し上げご挨拶
いたします。



山形県天童市 NPO法人 ふれあい天童

ふれあい天童理事長・加藤
由紀子さんの介護と育児の両
立の経験から「ちょっとした
日常のこと」を気軽に頼める
所があればと、「助け合いの
会」を立ち上げて活動をして
います。

ふれあい天童は、山形県天
童市の住宅街にあり、一軒家
の空き家を借りて憩いの場と
しても活動しています。左上
の写真のように利用者さんが
集い、のんびりと過ごしてい
ました。左下の写真は、ボラ
ンティアの方が昼食を作って
いる様子です。毎日お昼ご飯
を手作りし、みんなで一緒に
食事を取っています。



有償ボランティア

有償ボランティアとは、活
動してもらった人が謝礼金を
支払うボランティアのことを
言います。ふれあい天童での
有償ボランティアの活動は、
入院中や施設入所の方の洗
濯を代わりにする洗濯サービ
スや、外出支援などを行って
います。有償にすることによ
り、お礼に気を遣わせるのが
つらいという助ける側の意見
と、定期的にお願いがしたいが
いつでも無料では心苦しいと
いう助けられる側の双方の意
見が解決され、ちょっとした
ことでも気兼ねなく頼むこと
ができるといったメリットが
あります。



第50回羽後町社会福祉大会

令和5年11月2日(木)、第50回となる羽後町社会福祉大会が、羽後町文化交流施設美里音にて開催されました。今年も昨年と同様の形態で開催をしました。

午前より開会した式典は、社会福祉関係物故者に対する黙祷に始まり、町民歌斉唱のちに、地域福祉に貢献された個人の方への会長表彰が行われました。今回の表彰は2個人に対して行われました。内容等は下記にて紹介させていただきます。



式典の最後には、一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構より政策推進部副部長であり、研究部の主席研究員であります服部真治氏をお招きし、『地域のこれからと助け合いについて』というテーマのもと講演していただきました。



○土田 祥悦様(明治)
平成21年から令和5年3月まで明治振興協議会の会長を務められ、加えて令和2年度からは社協明治支会評議員に就任されております。こうした活動を通して長年にわたり、地域経済の活性化、文化環境保全などを率先して推進され、あわせて福祉事業にも尽力された実績が町民の模範と認められました。

表彰状



○高橋 節子様(元西)
(代理受賞)
長年にわたり元西地区婦人会活動に参加し、会長として地区の福祉活動に精励されました。特に地区の敬老会では会場の飲食の準備から、接待・送迎等にわたるまでを率先して行い、地域の行事、コミュニティ活動にも積極的に協力するなど元西地区の福祉の向上に大きく貢献され、その実績が町民の模範と認められました。

記念講演

今後の社会は、高齢化による老後期間の長期化や介護職員不足等の背景から、健康寿命の延伸が重要になってくるというお話をいただきました。

そのためには、骨折・転倒を予防するための運動習慣、認知症予防のための社会活動への参加、通いの場への参加を通しての「動いて鍛える」「話をして楽しむ」「生きがいを作る」が必要とのことでした。

また近隣に食料品店がないと健康リスクが上昇するという生活環境の影響を挙げられ、その人がしたいことをなじみの環境で続けることや、主体的に生活出来るよう支援することの重要性について講演いただきました。



令和5年度 日本赤十字会費・青い羽根募金へのご協力ありがとうございました

令和5年度の日赤会費及び青い羽根募金について、別表のとおりご報告いたします。地域の皆様より多くのご協力をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。

令和5年度日本赤十字会費

地区名	実績額(円)	世帯数
西馬音内	697,300	1,117
三輪	570,230	1,047
新成	284,600	408
明治	235,900	337
元西	264,900	383
田代	263,800	379
仙道	193,900	277
合計	2,510,630	3,948

令和5年度青い羽根募金

地区名	実績額(円)	世帯数
西馬音内	120,600	1,209
三輪	95,990	1,070
新成	40,900	409
明治	33,900	339
元西	38,400	384
田代	37,800	378
仙道	27,700	277
合計	395,290	4,066



首都圏在住の羽後町出身者で構成されている「首都圏羽後町会」の総会並びにふる里まつりが、令和5年11月26日(日)に4年ぶりに行われ、社会福祉協議会へ2台の車椅子が寄贈されました。

首都圏羽後町会より

車椅子を寄贈していただきました



いただいた車椅子は五輪坂デイサービスセンターで活用させていただきます。誠にありがとうございます。

事務機器・OA機器・事務用品
測量機器・スポーツ用品
各種ギフト用品

フジヒロ商店

湯沢市北荒町5番20号
TEL: 0183-73-1110
FAX: 0183-73-1866

三協自動車 整備工場

012-1115
羽後町足田字向小山69-6
TEL 0183-62-0606
FAX 0183-62-3062

株式会社 佐藤建設

安心して暮らせるまちづくり
地域未来の新たな創造

《業務内容》

土木・建築・舗装
解体・収集運搬
羽後町大久保字柏原96-9
TEL 0183-62-0131

地元 うご町の店

お葬式・回忌法要・各種会合

(株) マインド

羽後町字大戸43-3
TEL 0183-62-1234
Fax.62-3663

有限会社 モコ

- ◎グループホーム みわ
- ◎小規模多機能 みわ
- ◎訪問介護 ライフサポート みわ
- ◎有料老人ホームコンフォート みわ

012-1123
羽後町貝沢字三本塚55-5
TEL 0183-55-8367
FAX 0183-55-8368

株式会社 小野建設

ふるさとの 幸せ創造業

お困りごとご相談ください
土木・建築・解体の総合建設会社
羽後町新町字最上山7-1
☎ 0183-62-0127

有限会社 三浦運送

代表取締役 三浦孝昭

012-1131
羽後町西馬音内字中野153-5
TEL 0183-62-0670
FAX 0183-62-5077

社会福祉法人 羽後町福祉会

障害者支援施設 ひばり野園

羽後町足田字七窪27-1
TEL 0183-62-2345
FAX 0183-62-3113
<http://hibarino.whitesnow.jp/>

地域でのサロン活動を
笑いで盛り上げてくれ
ている、人星亭まさる
こさんのお金にまつわ
るお話です。

『お金のたまらない人が
貯めるには』

人星亭まさるこ

前回の9月号で、お金は「通貨」ともい「通過」するもので貯まらないとお話しました。でも、貯める方法が1つあるのです。

お金を「勘定する」とよく言いますね。そうお金は「感情」とつながっているのです。お金の使い方はその人の感情で判断されて使われます。

感情と関係なく納めなければならぬ税金や、支払う保険料は本当に気分が嫌な場合が多いのです。

毎月給料をもらっているも、2ヶ月ごとに年金をもらっている人も「あと1万円あればすごく助かるんだがなあ。」と思っている人でも、貯める方法があります。それは、天引き貯金です。

給料をもらっている人は毎月給料日に、年金の人は年金支給日に、自動的に定期預金に回してもらおうのです。金融機関にお願いすればやってくれます。金額は千円です。この始まりから、若者と高齢者の使い方が異なります。

最初に高齢者から説明します。毎月千円でやってみて、まだ余裕がある人は1年後、金額を上げてみます。上げ過ぎて生活に困らない程度です。最大5千円くらいでいいでしょう。

千円の人は1年で1万2千円。5千円の人は1年で6万円貯まります。

お金をおろして使うときは高額な支出の時に全部それに使います。例えば、テレビなどの家電の買い替えや孫のランドセルなどです。やっつけいけないのは、今月の生活費が足りないからといって、定期から1万円おろすなど、削るようなおろし方です。そうするとせっかくな貯まってきたお金が、氷が溶けるようにならなくなります。

若者は毎年千円アップしま

す。(1年目は千円ずつ、2年目は2千円ずつ) 急に上がった時はもう千円アップするのでもいいでしょう。

お金をおろすのは、百万円までおろしてはいけません。百万円になったら、自動車などの大きなものに使い、その時の貯金を全部使います。定期の増額のやり方はそのまま継続します。毎月千円に戻しません。すると次の百万円はすぐに貯まるからです。もし、20歳から始めて60年間続けると、約1千万円になります。

さて、千円を定期に回す余裕のない方もいますね。その方はこれをやってみてください。毎月、家庭の電気代、水道代、ガス代、灯油代、ガソリン代、スマホ代、衣装代、そして食料代の領収書を集計して1年間頑張ってください。節約出来るところが、見えてきますよ。



心あたたかいかいご寄付
ありがとうございました

寄金

8月

JAこまち盆踊り協力会様

12月

日蓮宗秋田県青年会様
三輪 小林 宏隆 様
西馬音内中学校5期生一同様

物品

8月

(株) マインド様

ティッシュペーパー

9月

埼玉県 麻生 里美 様
鍋敷き

9月

秋田県看護協会

湯沢雄勝地区支部様
タオル

10月

JAこまち女性部

西馬音内支部様
タオル

12月

(株) マインド様

ティッシュペーパー

心ゆたかな地域環境づくり

株式会社 柴田組

代表取締役社長 柴田 晋

本社
〒012-1126
雄勝郡羽後町杉宮字東腰廻 63
TEL 0183(62)2124(代) FAX 0183(62)3317

湯沢営業所
〒012-0051
湯沢市深堀字鎌切 17-3
TEL 0183(73)2020 FAX 0183(73)2021

JA うご
うご農業協同組合

012-1115
羽後町足田字泉田45-1

TEL 0183-62-1120
FAX 0183-62-5550

株式会社
みわ観光タクシー

012-1121
羽後町大久保字家妻82-1

TEL 0183-56-7017
FAX 0183-56-7018

社会福祉法人 五輪坂秋峰会
～五輪坂ひなげしの里～

障がい福祉サービス事業を通して、人と人との繋がりを大切にし、充実した暮らしと環境づくりを目指します。

羽後町足田字古堤上 21 番地 2
理事長 池田 大
http://www.gorinzaka.jp

この福祉だよりは、共同募金の配分金で発行されています。

ボランティア団体紹介〈2〉

JAこまち・JAうご

助けあいグループ福寿草

会長である茂木康子さんよりお話を聞きました。

福寿草は、高齢社会に対応するため、安心して暮らせる地域づくりを目的にJAこまち、JAうごの助けあい活動に賛同する仲間が平成11年に立ち上げました。現在会員38名。主な活動は、ミニデイサービス、健康教室「笑顔のつどい」を年9回、中央公民館・田代公民館・新成公民館で行っています。介護予防を目的とした事業で町からJAに委託され、福寿草が運営しています。対象は70歳以上の一人暮らし、高齢者のみの世帯で利用者は41名。10時から14時まで行っています。送迎から昼食メニュー作りもしており、地産地消で季節感のある目でも楽しめる自慢のお昼です。コロナで活動が中止になり、昨年からは時短でお弁当を持ち帰りで再開しました。参加も少なく利用者さんの「待ってたよ」「楽しみだ」の言葉に元気をもらい利用者さんに喜んでもらえる助けあい活動をこれからも続けていきたいと思ひます。



まごころたつぷりのお弁当



新聞紙でツリー作り

羽後町ボランティア団体連絡協議会

心といのちを考える講演会

羽後町ボランティア団体連絡協議会主催による「心といのちを考える講演会」が開催されます。

今回は、看護師・僧侶・ケアマネージャーなど多数の顔を持ち、現在は、非営利一般社団法人 大慈学苑代表として活動している 玉置 妙憂 (たまおき みょうゆう) 氏を講師にお招きして、「生き方・逝き方を考える ～スピリチュアルケアとは～」と題して講演をしていただきます。聴講は無料となっておりますので、ご近所お誘い合せて、是非ともお越しください。お待ちしております。



講師 玉置 妙憂 氏

と き：令和6年 2月21日(水)

午後2時 開会予定

と ころ：羽後町文化交流施設 美里音

昔見た光景、年老いた人が、「よいしょ」と声を出して立ち上がる様。昔見た光景、パソコン入力に四苦八苦の定年、間近の会社員。昔見た光景、「俺達の若い頃は…」という会話。そして今、私も立ち上がるたびに「よいしょ」と声を出す年になり、スマホの操作に四苦八苦し、時々若い人を見て「俺達の若い頃は…」と始める。

誰が名付けたか「前期高齢者」「後期高齢者」という区分、言われて気分が悪い。もっとも名付け親も後期高齢者になるだろうが、年を取ってくると福祉という言葉が身近になってくる。福祉活動は多岐にわたっており、それぞれの活動に各々独自の組織が存在する。活動を広範囲に展開することには、すこぶる有益であるが、統一された活動展開が出来ていないように思う。残念なことである。

(S・S)

